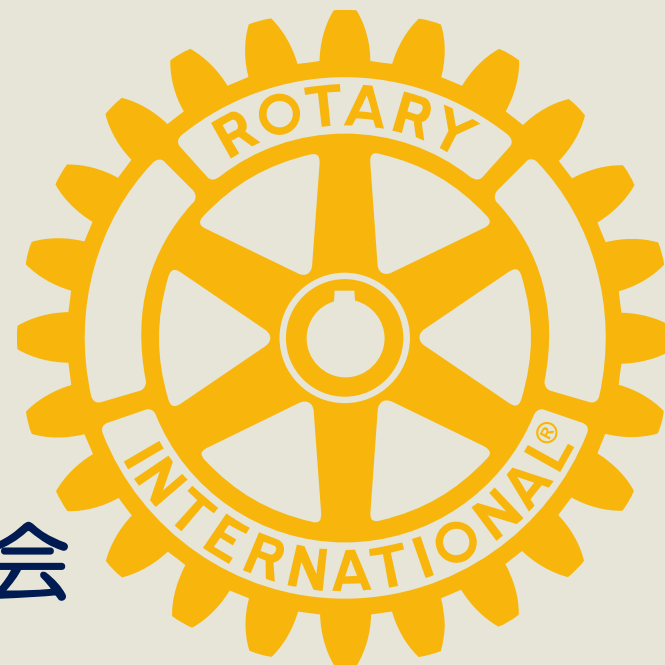


2016年4月9日(土)

国際ロータリー第2660地区

16-17年度 地区研修・協議会



# ポリオ・プラス

なぜポリオウイルスが地球上から根絶できるのか？その戦略と課題を考える

財団ポリオ・プラス小委員会  
松下 和彦 (八尾中央RC)



# ポリオとは？

- ポリオ＝急性灰白髄炎・小児麻痺

(5歳以下の子供に多発)

- ポリオウィルスによって人から人へ感染（感染症）
- 脊髄神経灰白質が冒され、四肢の急性弛緩性を引き起こす
- 呼吸筋系の運動麻痺が起こると死亡にいたることもある
- 治療法はなく、ワクチン接種による免疫抗体を受動的に

獲得しておくのが最善

# 四肢運動筋弛緩性麻痺による後遺症



(ウィキペディアより)



(国際ニュースより)

# ポリオプラスの目標＝ポリオ撲滅の世界的認定

(ロータリー章典40.010.)

ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムで撲滅が達成されるまでは、ほかのすべてのプログラムに対して優先される

(ロータリー財団章典12.030.)

世界からポリオ撲滅が判断できるまで、RIとロータリー財団の第1の目標としなければならないことを確認した



# プラスとは？

はしか・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風（子供が感染し発症。致死率が高い）はワクチン投与が望ましく、ここにポリオが加わった（足された）

ポリオ撲滅活動で得た手法や経験が、脅威的な感染症拡大防止にも役にたつとこのことを意味する**プラス**となった。

ポリオワクチン投与と同時にビタミンサプリメントを配布し健康増進を図ることや、蚊帳を配布するなどポリオワクチンの運搬、保存等のための新しい物流方法やネットワーク、サーベイランスなど

Rotary



# 接種投与後手の爪に色（紫色）を塗り後の接種率を知る



# 日本のポリオ撲滅の経過

1960	<p>輸入不活化ワクチンを導入していたが、国産不活化ワクチンの製造開始</p> <p>夕張に続き九州でもポリオ大流行、患者数約6,500人</p>
1961	<p>旧ソ連、カナダから日本国内超法規的措置で経口生ワクチンを緊急輸入</p> <p>日本で世界で最初の全国一斉投与（ブランクット・オペレーション）＝（National Immunization Days：NID）</p> <p>米国からの生ワクチンは輸入できなかったが、この時期同国のポリオ関連基金より寄附を受けた</p>
1963	<p>患者数激減100人以下</p>

Rotary



# 日本のポリオ撲滅の経過

1981	野生株によるポリオ患者の発生はみられず
2000	WHOに対しポリオ撲滅を宣言 生ワクチンが体内でまれに変異しポリオ発症を起こすということもあり、不活化ワクチンの再導入が求められていた
2012	9月1日より定期接種が生ワクチンから不活化ワクチンに切り替えられる ※ 地球上から野生型ポリオ発症が0人になり、その後3年間はポリオ根絶に向けて不活化ワクチンを接種し続ける必要がある



# 生ワクチン由来のポリオの発症

	2016 (3/30現在)		2015 (3/30現在)		2015 (通年)	
	WPV	cVDPV	WPV	cVDPV	WPV	cVDPV
アフガニスタン	2	0	1	0	20	0
パキスタン	7	0	20	1	54	2
ギニア	0	0	0	0	0	7
ラオス	0	3	0	0	0	8
マダガスカル	0	0	0	0	0	10
ミャンマー	0	0	0	0	0	2

赤字 : 常在国

WPV : 野生株ウイルス

cVDPV : 生ワクチン由来のポリオウイルス (感染性有り)

# ポリオ撲滅の科学的根拠

①人のみを宿主とするウイルスである。

(媒介するものもなく、体外では早々に死滅する)

②3つのタイプのウイルスに対するポリオワクチンは

1999年インドで最後の2型ウイルスが撲滅

1型3型のための2価ワクチンへのシフト準備となる

(cVDPD対応するワクチンも即座に開発製造可能である)

③生ワクチン投与が簡単で早い時期に免疫獲得できる。

# 主要戦略4つのポイント

1. 定期接種を全員に、渡航者は国内で接種を済ませる  
移動中では子供からお年寄りまで検問状況での接種
2. 国民全員に免疫をはかるため全地・特定地域一斉に行う(NID)
3. サーベイライン、その分析と追加投与の徹底  
(ポッピングアップ戦略) = sNID
4. 後は不活化ワクチン注射接種で維持してゆく  
(ワクチン由来のポリオ発症を避けるため)



ソースとしての継続的ファンディング



# ポリオ撲滅作戦（ユニセフ）

変異するウイルスに対応する様々なワクチン開発

ワクチンの製造量の調整や調達ルート

地域の治安状況 ポリオの流行度合い

国、地域、世界レベルでのモニター,刻々と変化する状況への対応

ワクチンの実施には、3年間もの準備期間がかかる

ポリオ生ワクチンは安価で高い効果がある

保存、輸送管理が困難である（常に温度2度～8度）

地域コミュニティの協力、保護者の理解と協力

ポリオ撲滅には大勢の人々や協力団体が必要

Rotary



その文中にある重要な奉仕理念には

個々人の奉仕と集団の奉仕があり  
それぞれのSERVICEをするように推奨しています

ポリオ・プラスは私達チームの国際奉仕活動です。



# ポリオ・プラスには目指すロータリーの姿がある

- より大きな注目と影響
- より大きな活動成果
- ロータリーのブランディングとヴォイス

アドボカシー：伊勢サミットに向けて



# END POLIO NOW

歴史に1ページを刻もう



ポリオへ一人当たり**60ドル以上**の寄付を御願いたします



2660地区財団委員会

# Good-Bye POLIO, Thanks Rotary





# ポリオ・プラス基金への寄付

## ゲイツ財団と協力して寄付の効果を“3倍”に!



「ロータリーはこれからも、ポリオ撲滅活動の中心的存在となります」  
ビル・ゲイツ

「ポリオ撲滅活動の失敗は、決して許されません」  
マーガレット・チャン  
世界保健機関 (WHO)  
事務局長

「ポリオ発症数は99.9%減少しました。しかし、子どもたちが一人残らず予防接種を受けるまで、ロータリーはその手をゆるめません」  
マイケル K. マクガバン  
ロータリーのインターナショナル・ポリオプラス委員長

「私たちは、すべての子どもたちをポリオから守る力があります」  
アンソニー・レイク  
ユニセフ事務局長

「世界のどこかでポリオの感染者が出ることは世界全体の脅威です」  
トーマス・フリーデン  
米国疾病対策センター  
所長

## 上乘せの仕組み

2013年～2018年度、ポリオ撲滅のためにロータリーがWHOとユニセフに寄せる寄付に対して、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍の額を上乘せします(上乘せの対象額は毎年3500万米ドルまで)。たとえば、25ドルの寄付でどのようなことが可能になるでしょうか。

皆さまからの  
ご寄付  
**US\$25** + ゲイツ財団による  
上乘せ  
**US\$50**

合計寄付額  
**US\$75**



または



または



**150**

ボランティア用のベスト  
予防接種活動の従事者だと一目で分かるように、ボランティアは黄色のベストを着用します。

**75**

ワクチンを運搬するための容器  
経口ポリオワクチンの効果を保つには、常に冷却保存する必要があります。

**600**

予防接種を受けた子を識別するペン  
予防接種を受けた子を識別するために、紫のペンで小指に印をつけます。

## 撲滅まで「あと少し」

野生型ポリオウイルス常在国はわずか**2カ国**



ポリオ撲滅活動はまだ終わっていません。予防接種の行き届きにくい地域にポリオは根強く残っており、残る**0.1%**との闘いが最も難しいとされています。

子どもたちをポリオから守るために



# “Rotary Serving Humanity”



人類に  
奉仕する  
ロータリー

ご清聴 ありがとうございました

貴クラブの周年記念プロジェクトには是非ポリオ・プラスにご寄付を！

Rotary

